

基礎期通信「ひたまり」

市立札幌開成中等教育学校

基礎期通信 N0.5

2021.6.8.(Tue.)

引き続き、昼食後下校の週です。

【1・2年生「試行錯誤」の取り組みがスタートしています】

本校では6年間を通して探究活動を行っています。基礎期は、探究活動の基礎を身につける学年で、『試行錯誤』と題し、生徒自らが興味・関心のあることから、リサーチエスチョンを立て、探究のサイクルを身に付けていきます。探究のサイクルとは調査・計画・行動・振り返りから成っています。「調査」では自らの興味関心と向き合い疑問や不思議に思っていることについて調べます。「計画」では考えたリサーチエスチョンをどのような場所で、どのようなスケジュールで行うのか計画を立てます。「行動」では立てた計画を元に実際に体を動かしながら実験や観察を通してリサーチエスチョンを明らかにしていきます。「振り返り」では行った行動についてまとめたり、次の活動つなげるにはどうしたらよいかについて考えていきます。3年生以降はこれらの探究サイクルを理解した上で、よりサイエンス的な探究活動を行っています。

それでは生徒がこれまで考えたリサーチエスチョンをいくつか紹介したいと思います。

1年生リサーチエスチョン例！！

「茶葉以外でおいしい日本茶は作れる？」「どうしたら植物や風景をきれいに撮れる？」「餅米以外でももちもちの餅に似ているものは作れる？」「一年かけてアニメを作ったらどんな風に仕上がる？」

2年生リサーチエスチョン例！！

「より水平飛距離を伸ばせる紙飛行機の折り方は？」「パンケーキを厚くする方法は？」「美術解剖学を学べばどれだけ絵は上達する？」「虹の正体は何か、操るにはどうすればよい？」

それぞれの好きなことや、興味に基づいた面白いテーマが多く、探究の成果が楽しみです。

【保護者の皆様へお願い】

『試行錯誤』の「行動」は、基本的に家庭か授業時間内に行います。そのため、お子様がどのようなことを疑問に思い、探究しようとしているのかを共有していただきたいと考えています。扱うものや購入するものに関して、家庭で相談する必要があるかも知れません。お子様には保護者サインが必要なプリントを配付していますので、了承を得られれば署名をよろしくお願いいたします。

『試行錯誤』においては生徒の興味関心が一番だと考えています。好きなことを深め、一年かけてやり遂げることで、様々なスキルを身に付け、自信にもつながります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3. 活動確認

試行錯誤で何をしているのか、どんなことを考えたのかこれまでのブックレットなども参考にしながら保護者に伝えよう。また、行動において家庭での活動もあり得る。自分で説明して保護者の了承を得よう。

保護者の方へ
試行錯誤では自らの興味関心を深め、今後の探究活動をよりよくしていくため、1学年では探究サイクル(調査・計画・行動・振り返り)を知ることを目標にしております。そのため、何かしらの行動が求められています。その際、家庭での行動がある可能性があります。お子様が何を考え、どのように探究しているのか是非共有していただければと思います。よろしくお願いいたします。

・保護者コメント

・保護者確認欄(印鑑またはサイン)

配布プリント

お子様の探究テーマについて確認し、署名をお願いいたします。

【基礎期懇談会について】

以前の通信でお知らせしたとおり、動画で配信をいたします。学校ホームページ『保護者・地域の皆様』から、『【基礎期保護者対象】懇談会代替動画(6月3日)』に進んでください。基礎期の運営方法の基本コンセプトは昨年同様ですので、1年生向けに作成しています。2年生の保護者の皆様は、昨年度の確認になる部分が多いと思います。御理解ください。